

パウダーレスインキ「キレイナ」の実力 (広告)

6. 工場が白くなくなった [ティー・エヌ・ピー]

(有) ティー・エヌ・ピー (高林伸行社長, 従業員 18 人, 東大阪市高井田) は, 1992 年に高林社長が製版会社として創業した。その後, 業務を拡大することになり 2002 年に大阪府中央区久宝寺町に移転, 2007 年に東成区東小橋に移転し, B4 判チラシを印刷できるという優位性から小森コーポレーション製の B 半裁判 4 色機スピカを導入し, 印刷も始めることになった。また断裁機や折り機も随時設備していった。

もともと, デザイン事務所的なことも行っており, 企画→デザイン→製版→印刷→加工と, ワンストップサービスが可能な企業になっていった。

さらに 2010 年から, 「販促ドットコム」(www.tnp-hansoku.com) を始めた。これは, フリーダイヤルの専用電話も開設し, ネット注文で販売促進用の各種グッズを販売する事業である。販促グッズが印刷物であれば当然自社で作る, モノであれば仕入れて, 全国の発注者に送る。こちらは, 高林敬悟常務が中心となって行っている。

IPA や掃除で試行錯誤

製版会社が印刷会社となつての大きな悩みが, パウダーだった。同社の仕事は短納期で, 8 割は両面カラー印刷であり, 片面印刷機における先刷り面のパウダーが印刷にいたずらをした。多くの印刷会社がそうであるように, パウダーに起因する印刷物の汚れやボタ落ちはたまにクレームにもなっていた。さらに, 印刷機はもちろん, その周りの棚や近くに配置していた断裁機が真っ白になっていた。

インキの濃度を維持しつつ盛量を下げることで少しでもパウダー量を削減しようと, 理想はノンアルコールであるが, IPA を 3% までと決めて湿し水に添加していた。また掃除は 1 日に 2 回行うなど努力はしていたが, どれも大きな効果はなく, 何とかできないものだろうかと考えあぐねていた。

同社は, 印刷データをいじる, 刷版カーブを変える, 水を絞れる版に変えるなどはあまり考えず, 印刷・インキ側で解決できないかと検討していた。

飛び込み営業の情報に飛び付いた

2014 年 7 月, T&K TOKA の飛び込み営業があった。印刷部の田口満部長がパウダーレス印刷が可能にするインキ「キレイナ」の話聞いた。田口部長はその話に飛び付いた。高林社長も現場の状況は知っていたので, 良い印刷ができるのなら問題ないと了承し, 3 日後にはテスト印刷していたという状況である。

キレイナは当時市場に出たばかりのインキであり, 改良の余地が大きい状況だった。それでもテ



パウダーはゼロではないので余分なパウダーを吸引する必要があるが, デリバリ上の吸引装置がなくなることが理想だ

ィー・エヌ・ピーはすぐにプロセスインキをキレイナに変えてしまった。大阪でのキレイナ本格採用の第 1 号の会社となった。

パウダー量 100 が 20 に

その後, 印刷をさらに拡大しようと 2015 年 4 月に今の場所に移転した。大阪府営地下鉄高井田駅から徒歩 5 分程度のところである。そしてたまたまではあるが, この場所は T&K TOKA 大阪支店から車で数分, 歩いても行ける距離であった。朝電話 1 本で特練りのインキを注文すれば, リピートものであれば昼には届けられるという, 近さの恩恵も受けているのは言うまでもない。もちろん技術サポートもあつという間に来る。

移転後, A4 判の冊子の仕事が多いという理由もあり, リスロン A 全判 4 色機を設備した。当然, インキは「キレイナ」のままである。同社の仕事の多くは同業印刷会社からのチラシやパンフレット, ポスターなどの商業印刷がほとんどだ。絵柄と紙により, パウダーゼロで行ったこともあるとは言いが, 印刷用紙は多種多様であり, さすがにパウダーゼロには今はできない。

現在は, 以前の 2 割程度の量を散布しているという。パウダーの目盛で言うと, 通常は 17~18 くらいのところ, 1~2 という。キレイナの効果が低い上質紙やマット紙などは, パウダーの

量を調整することで印刷している。

良いこと尽くめ

パウダーの量が 2 割になった恩恵は, 目に見えて明らかになった。工場は真っ白にならない。今では 2 台の印刷機とも湿し水はノンアルコールである。さらに特筆すべきは, パウダーに起因するボタ落ちや汚れの印刷クレームがなくなり, 検品や刷り直しなどが激減したことである。このことは経営的にも大きい。

田口部長によると, キレイナ導入後のデメリットは, まれに蛍光色やユボ用などキレイナでないインキを使う場合に, 当然, パウダーの量を通常に戻さなくてはならないが, キレイナ用の少ない目盛のままにして刷ってしまったという, 笑い話的なことくらいだろうか, とのことである。

同社は今後, 普通にパウダーレス印刷ができるように, また, 合成紙などでも積極的にキレイナでの印刷を行っていきけるようになるのが課題だと考える。

現在, 印刷機 2 台にオペレータは田口部長を含め 5 人。キレイナを使い始めてから印刷品質も労働環境も良くなったという恩恵を受けている印刷会社である。 (つづく)

革新的なパウダーレスインキ「ベストワン KIRÉINA」誕生。

キレイナ印刷
キレイナ加工
キレイナ機械
キレイナ工場

BEST ONE
KIRÉINA

T&K TOKA

株式会社 T&K TOKA <http://www.tk-toka.co.jp>
TEL 049-258-1611(代表) 埼玉県入間郡三芳町竹間沢 283-1 〒354-8577